

# 2009年3月期中間 決算説明会

(社団法人 日本証券アナリスト協会主催)



## 東リ株式会社

2008年12月 8日

\* 本資料に関する注意事項

本資料に記載されている東リグループの計画・戦略・見通しのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しです。これらは、現時点で入手可能な情報に基づいた東リグループの仮定および判断によるものであり、実際の業績等は、さまざまな要因により、これらの見通しと異なる可能性があります。

# 目 次



## I. 2009年3月期中間 決算概要

連結売上高・利益の推移	P. 4
2009年3月期中間 まとめ	P. 5
連結貸借対照表概要	P. 6
連結キャッシュフロー計算書概要	P. 7
主要項目の概要(連結)	P. 8
連結セグメント別情報	P. 9

## II. 2009年3月期における重点実施施策

『GROW UP 2008』の概要	P. 13
重点戦略テーマ 進捗状況	P. 14
収益改善と今後の成長に向けた取組	P. 16
高付加価値品の開発・販促強化	P. 17

## III. 来年度以降の取組について

(次期中期経営計画の策定)

東リグループを取り巻く課題	P. 22
東リグループが目指す今後の方向性	
① レジデンシャル市場における 新商材の開発	P. 23
② 環境対応力の更なる強化	P. 24
③ グループCSR体制の確立	P. 28

# I . 2009年3月期 中間決算概要

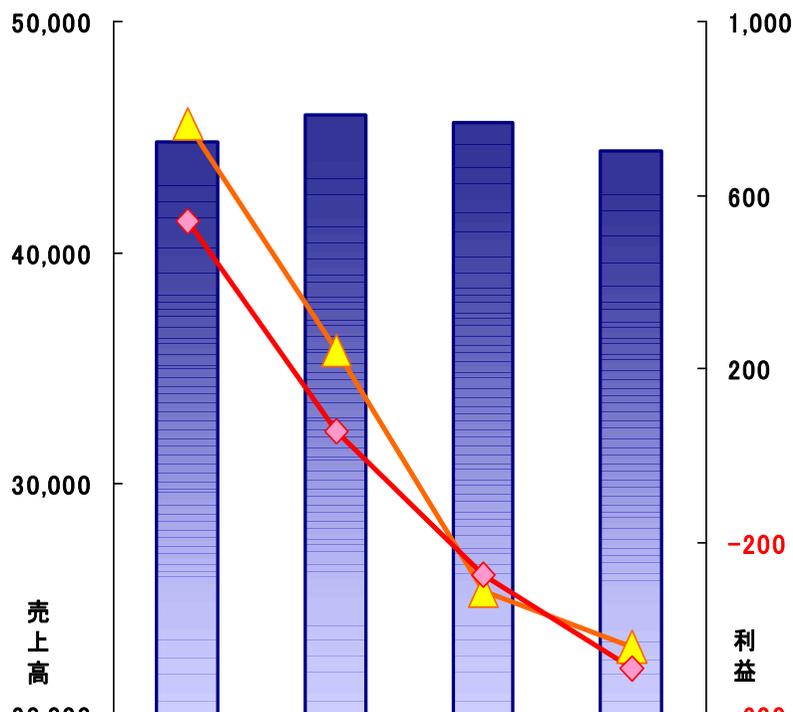
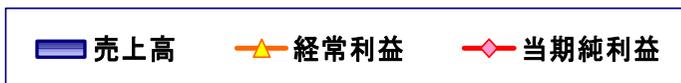


# 連結売上高・利益の推移



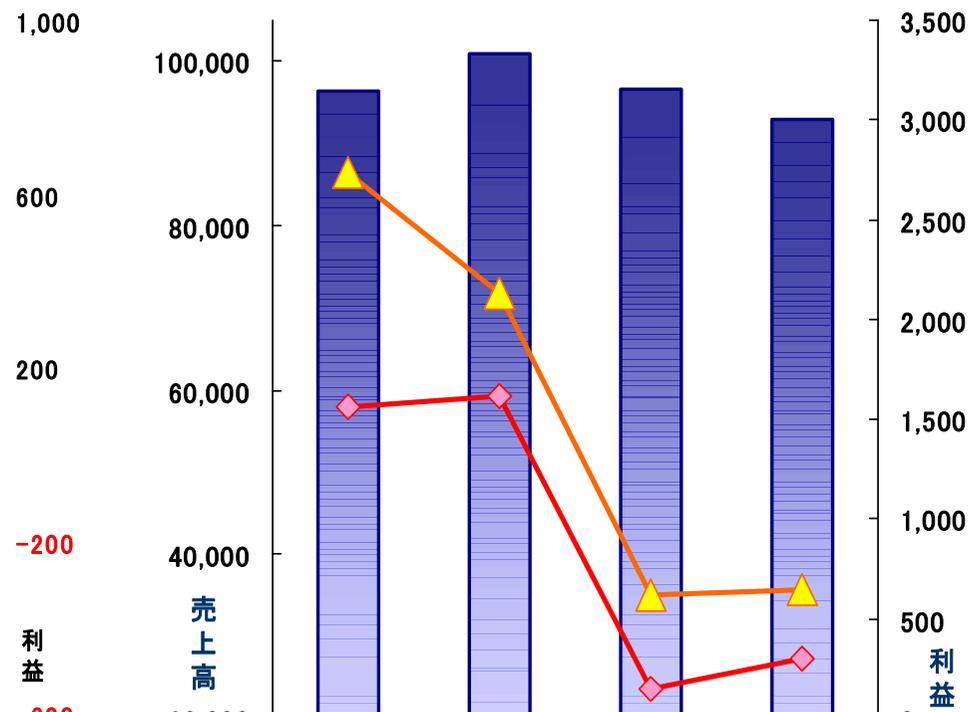
(単位:百万円)

## 【 中間 】



	2006.3月期中間	2007.3月期中間	2008.3月期中間	2009.3月期中間
売上高	44,772	45,988	45,674	44,419
経常利益	765	243	-312	-441
当期純利益	540	56	-276	-494

## 【 通期 】



	2006.3月期	2007.3月期	2008.3月期	2009.3月期(予)
売上高	96,375	100,936	96,641	93,000
経常利益	2,736	2,128	618	650
当期純利益	1,565	1,619	152	300

## 外部環境

- 昨年6月施行の『改正建築基準法』による新設建築着工量大幅減の影響
- 原油および原材料価格の高騰による原価アップ
- サブプライムローン問題に端を発した国内景気減速による個人消費低迷

## 当社グループの取組

- 中期経営計画『GROW UP 2008』重点施策の推進
- 高付加価値製品の開発・発売
- 販売価格の是正
- 生産効率改善による原価低減・販売管理費の圧縮

売上高・利益で前年を下回ったものの、当初計画値より改善した

# 連結貸借対照表概要



(単位:百万円)

	2008年 9月末	2008年 3月末	2007年 9月末		2008年 9月末	2008年 3月末	2007年 9月末
売掛債権	22,683	27,607	24,735				
棚卸資産	9,555	9,272	9,574	仕入債務	22,245	24,992	23,176
流動資産	39,180	43,171	40,831	流動負債	25,577	30,428	30,972
				固定負債	15,622	13,999	12,087
有形 固定資産	18,150	18,031	18,200	負債合計	41,200	44,428	43,059
無形 固定資産	1,164	1,337	1,585				
投資他 資産	7,452	7,658	8,700	株主資本	23,328	24,268	24,003
固定資産	26,767	27,027	28,487	純資産合計	24,747	25,769	26,258
資産合計	65,948	70,198	69,318	負債及び純資産 合計	65,948	70,198	69,318

## 【資産】

- 季節要因による売掛債権額の減少
- " 棚卸資産の増加
- 建設仮勘定の増加
- 投資有価証券の減少

2008年3月末  
との比較

△4,924  
+ 282  
+ 268  
△ 147

## 【負債】

- 季節要因による仕入債務額の減少
- 有利子負債残高の減少
- 未払費用の減少

△2,747  
△ 290  
△ 179

## 【純資産】

- 株式評価差額の減少
- 利益剰余金の減少

△ 84  
△ 938

# 連結キャッシュ・フロー計算書



(単位:百万円)

	2009年3月期 中間	2008年3月期 中間	増 減
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,876	1,383	493
税金等調整前当期純利益	△ 620	△ 338	△ 281
減価償却費	922	938	△ 15
その他	1,573	782	791
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,013	△ 513	△ 499
有形固定資産の取得による支出	△ 871	△ 304	△ 567
無形固定資産の取得による支出	△ 71	△ 61	△ 10
その他	△ 70	△ 147	77
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 751	△ 866	114
IV 現金及び現金同等物の増加額	111	3	108
V 現金及び現金同等物の期首残高	4,783	4,398	385
VI 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加	-	3	△ 3
VII 現金及び現金同等物の期末残高	4,895	4,404	490

## 【営業活動によるキャッシュ・フロー】

- 当期純利益の赤字幅が拡大
- 仕入債務が減少

## 【投資活動によるキャッシュ・フロー】

- 固定資産取得による支出が増加
- 投資有価証券取得による支出が減少

## 【財務活動によるキャッシュ・フロー】

- 短期借入金の返済額が減少

# 主要項目の概要(連結)



(単位:百万円)

	2009年3月期	2008年3月期		前年同期比 増 減
	中間 (08/4 - 08/9)	通期 (07/4 - 08/3)	中間 (07/4 - 07/9)	
設備投資額	942	767	365	577
減価償却費	922	1,928	938	△ 15
研究開発費	187	334	161	25

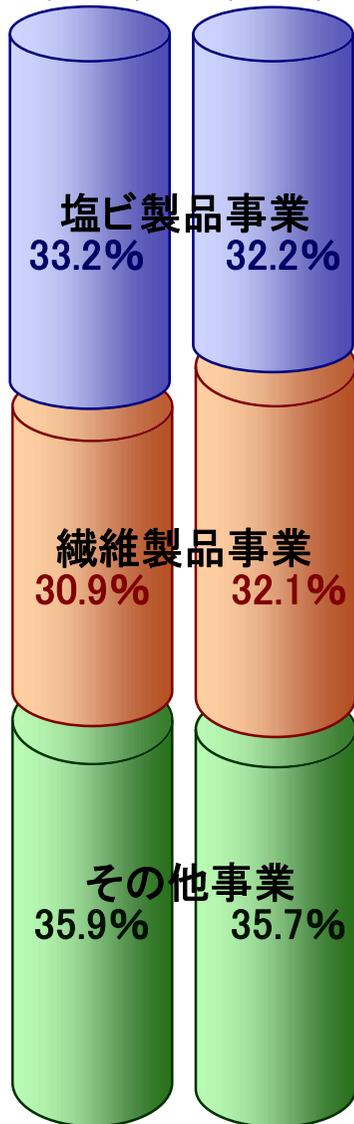
				2008年3月末比
有利子負債残高	9,810	10,100	10,300	△ 290

# 連結セグメント別売上構成



(中間期 売上構成)

<2009> <2008>



## 塩ビ製品事業

- ◆ ビニル床タイル
- ◆ ビニル床シート
- ◆ クッションフロア



店舗用ビニル床タイル



医療・福祉施設用ビニル床シート

## 繊維製品事業

- ◆ タイルカーペット
- ◆ ロールカーペット
- ◆ パネルカーペット
- ◆ カーテン



タイルカーペット



ロールカーペット



カーテン

## その他事業

- ◆ 壁装材
- ◆ 接着剤他
- ◆ 販売会社仕入商品  
(ブラインド・カーテンレール他)



壁装材



化粧仕上げ壁材



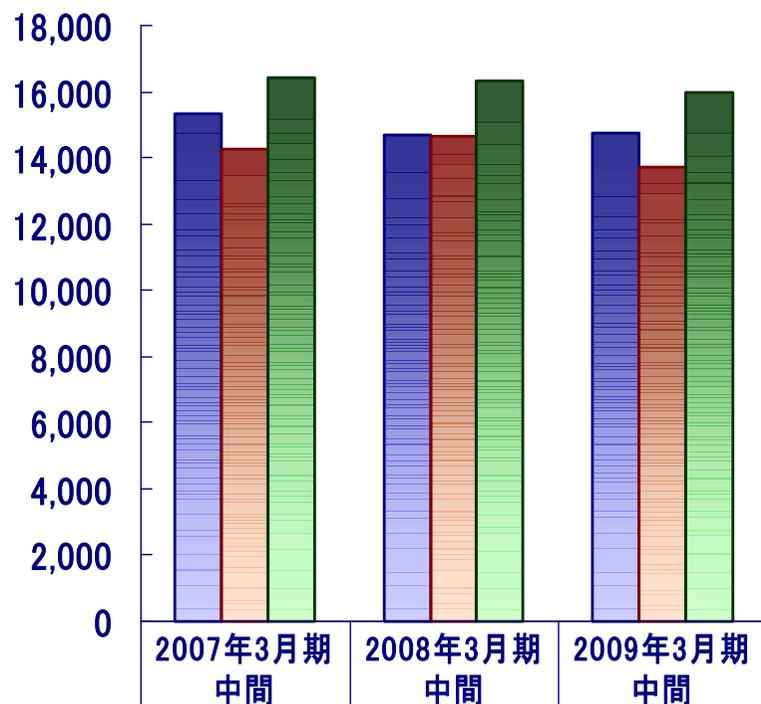
腰壁タイプ

# 連結セグメント別実績推移



## 売上高

■ 塩ビ製品事業 ■ 繊維製品事業 ■ その他事業

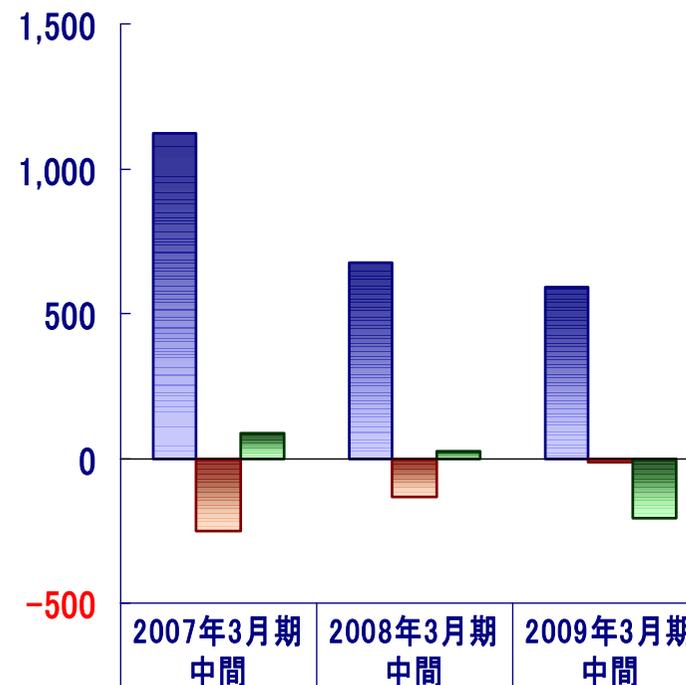


■ 塩ビ製品事業	15,328	14,718	14,728
■ 繊維製品事業	14,247	14,639	13,734
■ その他事業	16,412	16,316	15,956

## 営業利益

(単位:百万円)

■ 塩ビ製品事業 ■ 繊維製品事業 ■ その他事業



■ 塩ビ製品事業	1,124	675	591
■ 繊維製品事業	-249	-133	-15
■ その他事業	85	25	-207

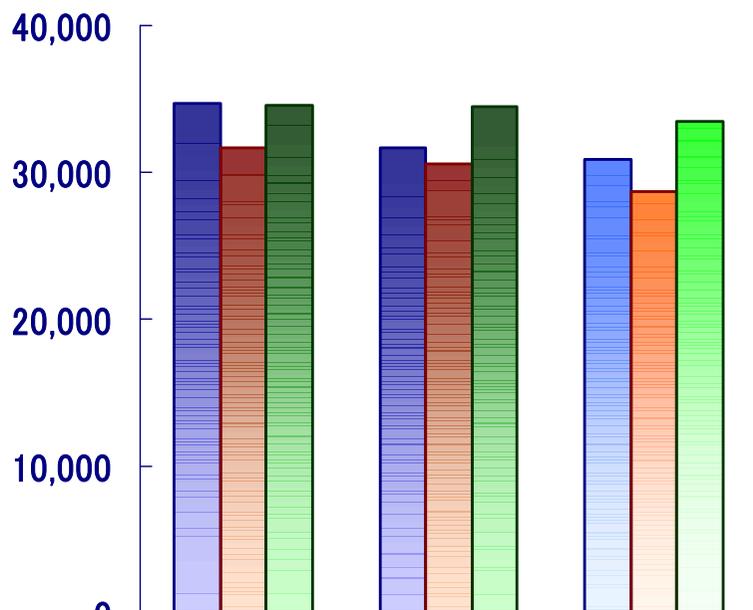
\*本社共通費 785 786 741

# 連結セグメント別通期見通し



## 売上高

■ 塩ビ製品事業 ■ 繊維製品事業 ■ その他事業

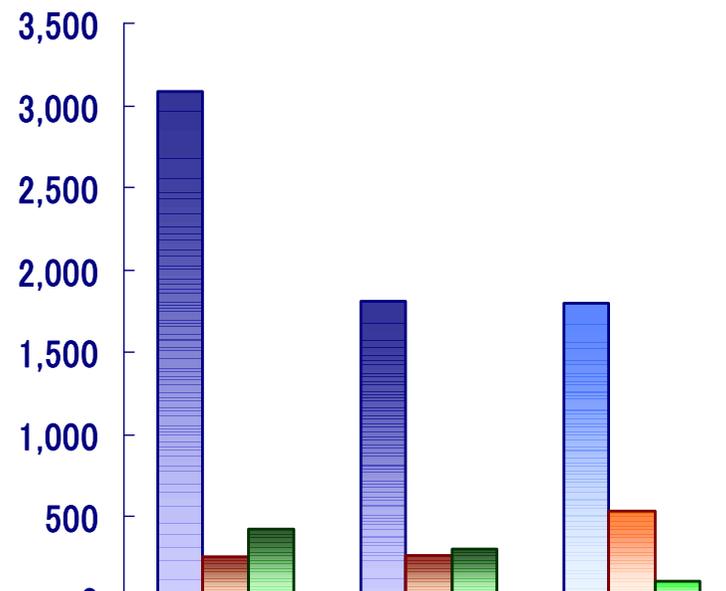


■ 塩ビ製品事業	34,684	31,713	30,900
■ 繊維製品事業	31,715	30,507	28,650
■ その他事業	34,536	34,420	33,450

## 営業利益

(単位:百万円)

■ 塩ビ製品事業 ■ 繊維製品事業 ■ その他事業



■ 塩ビ製品事業	3,089	1,809	1,800
■ 繊維製品事業	254	263	530
■ その他事業	430	311	110

\*本社共通費 1,574 1,549 1,540

## Ⅱ. 2009年3月期における 重点実施施策



**I. ものを売る力を強化する**

**II. 技術開発現場力の向上**

**III. グループ経営効率を高める**

人材戦略 IT利活用 コーポレートガバナンス体制の強化

【経営目標】

《経営指標》

<連結>

<単体>

売上高

1,080億円

620億円

経常利益

50億円

40億円

ROA(総資産経常利益率)

6.0%

6.0%

## ものを売る力を強化する

### 【重点施策】

種蒔営業と刈取り営業の分業体制構築

エリア別アクションプログラム推進

小口獲得に向けた販促政策・業務効率化実施

### 【成果】

種蒔営業件数の大幅増加  
店舗系施主の攻略による売上拡大

11エリア中9エリアで年度初計画達成

稼働店数の増加  
営業支援システム・EDIの推進

## 技術開発現場力の向上

### 【重点施策】

新規技術開発研究の重視

コア事業への経営資源集中投下

マーケティング戦略構築力の強化

### 【成果】

エコマーク取得品の発売  
メンテナンス性を重視した商品発売

次年度以降塩ビ新製品開発へ注力  
カーペット事業再編が第2段階へ

市場別ニーズ追求と商品開発実施

## グループ経営効率を高める

### 【重点施策】

在庫効率の改善

物流戦略の推進

カーテン事業収益改善

### 【成果】

在庫削減効果：1.9億円／期（2006年度比）

物流改革効果：1.6億円／期（2006年度比）

カーテンアイテムの集約  
住宅系メーカーへの販促営業体制構築

## その他取組実績

### 【取組施策】

中堅社員選抜型プロジェクト研修の実施

内部統制システムの構築

2008年12月 新研修センター竣工  
将来構想に向けた人材育成の強化

グループ全7工場での生産・品質の  
改善に向けた活動実施

# 収益改善と今後の成長に向けた取組



## 【今年度具体的施策】

- ◆ 塩ビ床材・タイルカーペットを中心とした値上げ実施
- ◆ 高付加価値商品の重点的開発・販促活動の実施
- ◆ 物流費削減策の継続的推進
- ◆ 縫製所・倉庫等の拠点再編

## 【上半期実施項目】



### 【価格改定】



### 【製品発売】

カーペット・壁紙



カーテン



床材・カーペット



床材



### 【倉庫再編】



福岡移転

広島札幌



効率化

高松移転



## ◆ NSフラッティ

防滑性ビニル床シート 2008年8月新発売

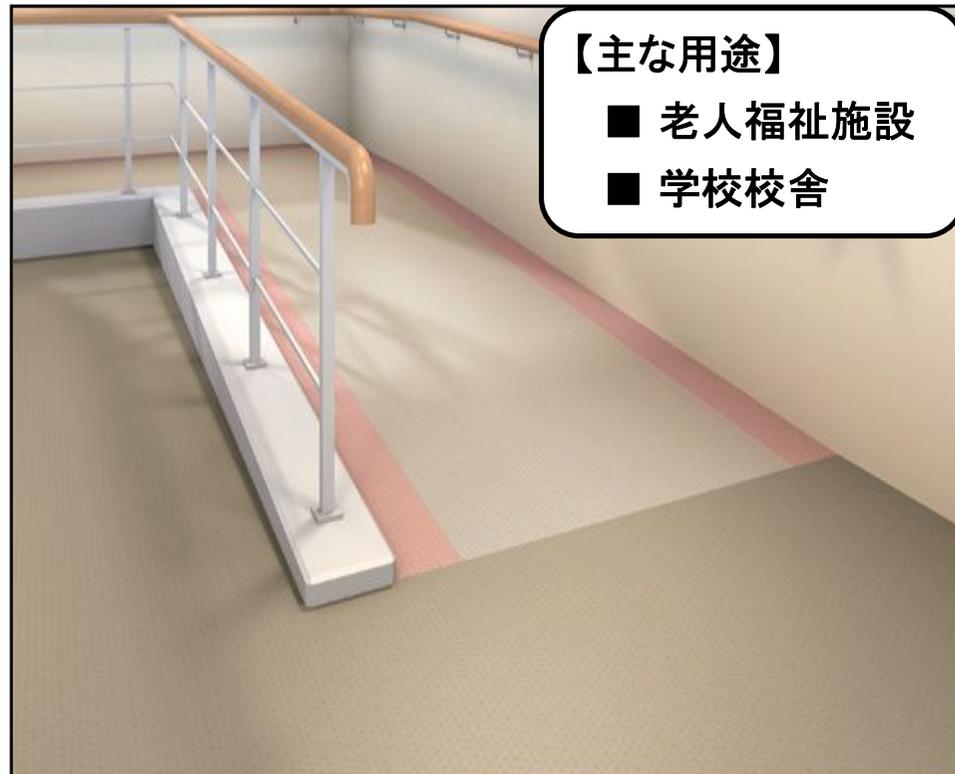
- 【特徴】
- ◆ 表面がフラットで掃除がしやすい
  - ◆ UVコーティングで防汚性に優れ、落ちやすい
  - ◆ アルミナと素材の硬軟で滑りにくい
  - ◆ 抗菌性を付与
  - ◆ 耐動荷重性に優れる
  - ◆ 軽くて環境にもやさしい

## 【断面図】



## 【主な用途】

- 老人福祉施設
- 学校校舎



# 高付加価値品の開発・販促強化②



## ◆ イークリン

高耐久防汚タイル  
2008年11月新発売

【主な用途】

■ 商業施設

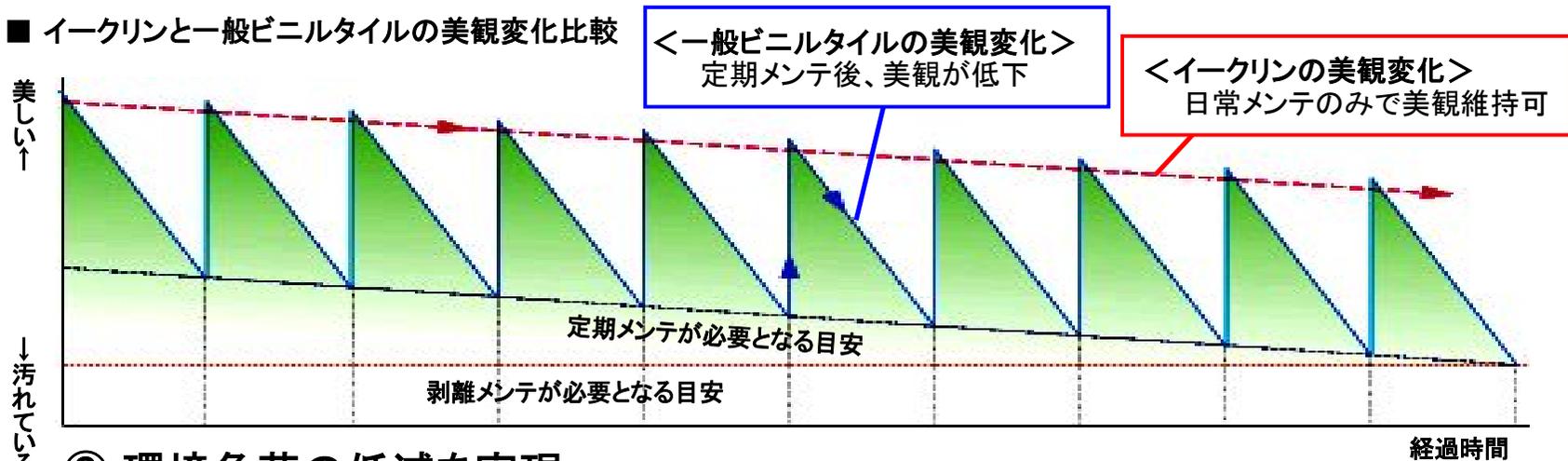


### 【特徴】

#### ◆ 最高レベルのUV樹脂コーティング

- ① 耐久性に優れる
- ② メンテナンスの手間とコストを大幅削減

#### ■ イークリンと一般ビニルタイルの美観変化比較



#### ③ 環境負荷の低減を実現

- ・ワックスメンテナンスが少なくすみ、汚水発生を抑制
- ・光沢があり、少ない照明で明るい店舗を実現

◆ トウカタン・ディアシャーク ダストコントロールタイルカーペット 2008年8月新発売

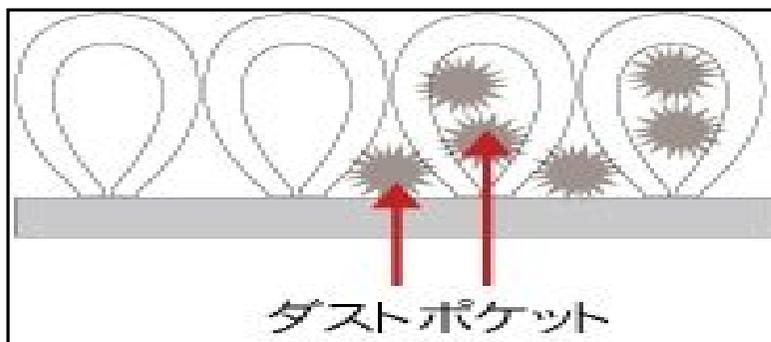
最近、タイルカーペットは商業施設に多く採用されている

● 商業施設に求められる性能：

『メンテナンス性』『防塵性』『高耐久性』『高意匠性』等

## 【特徴】

◆ ダストポケットが大きく、メンテナンスが容易かつ、多くの土砂を受け入れることが可能



- ◆ 太い糸を使用しており、へたりに強い
- ◆ 商業施設向けの意匠性を追求

## 【主な用途】

- 商業施設
- 事務所



# 高付加価値品の開発・販促強化④



## ◆ GA100-EM

環境対応タイルカーペット 2008年8月新発売

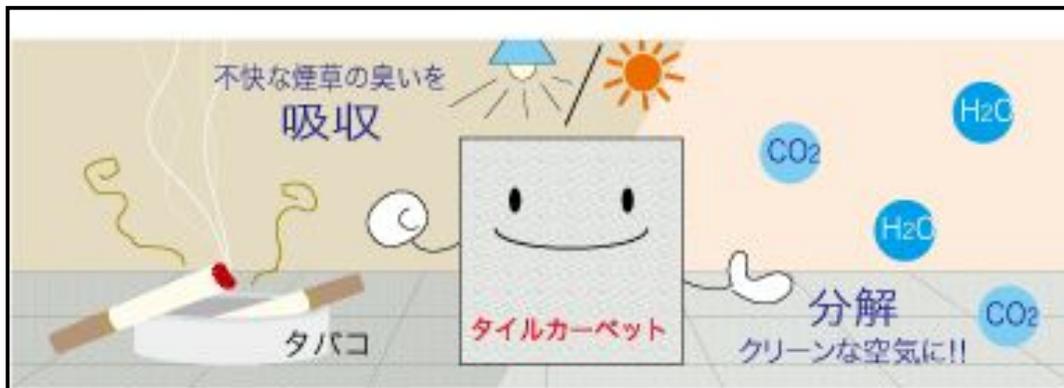
- 【特徴】 ◆ (財)日本環境協会のエコマーク認定品  
再生材料を25%以上使用した環境対応商品  
◆ グリーン購入法適合商品にも認定



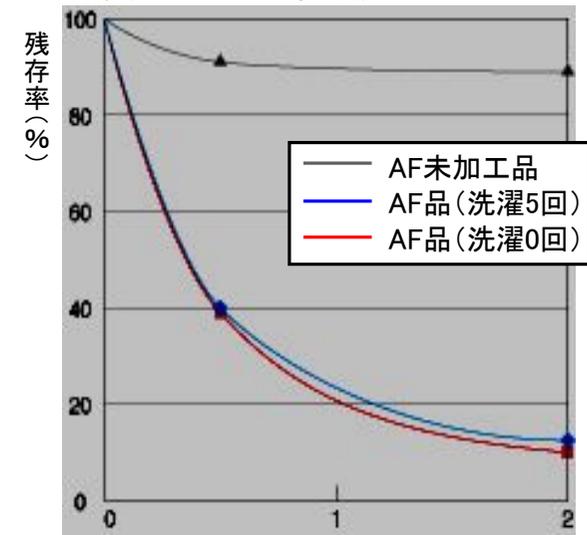
## ◆ GA100-AF

消臭機能(AF:エアファイン)付タイルカーペット 2008年8月新発売

- 【特徴】 ◆ 生活四大悪臭をすばやく消臭分解  
◆ メンテナンス後も消臭効果が持続  
◆ 高い安全性の薬剤だけを使用



洗濯後の消臭効果比較



経過時間(時間)

## Ⅲ. 来年度以降の取組について (次期中期経営計画の策定)





- ◆ 環境変化への柔軟かつ素早いアクション
- ◆ 生きた情報をうまく活用できる組織対応能力
- ◆ 現状施策のレベルアップ + 従来とは違ったイノベーション施策の推進
- ◆ CSRの推進

# 東リグループが目指す今後の方向性①

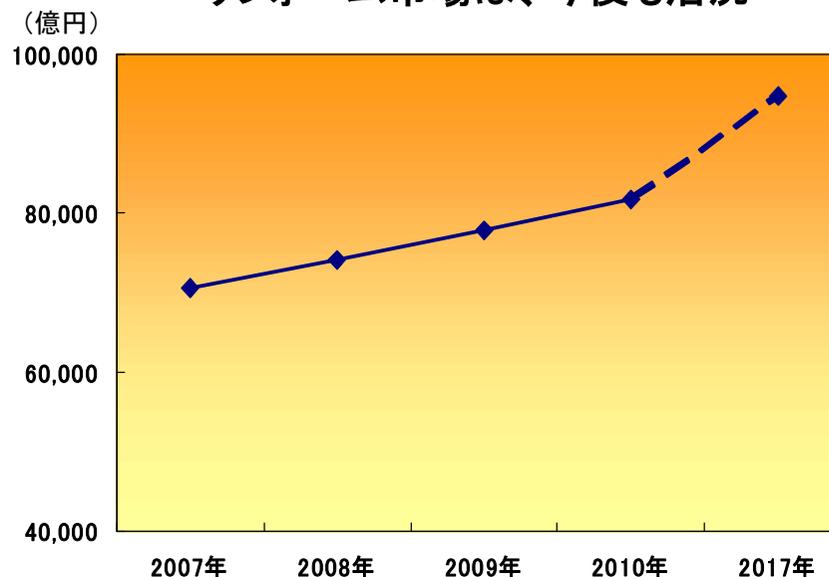


## レジデンシャル市場における 新商材の開発

例) 膨大なストック市場での貼り替え需要



リフォーム市場は、今後も活況



- ◆ 国内インテリア市場で数少ない成長市場
  - ◆ 環境対応としての省エネ住宅・長寿命住宅へのシフト
  - ◆ 住宅ローン減税延長・リフォーム減税実施
- 獲得強化

# 東リグループが目指す今後の方向性②



## 環境対応力の更なる強化

環境関連ビジネスが今後拡大していく

環境省ホームページより（単位：億円）

	2000年	2010年	2020年
環境汚染防止市場	95,936	179,432	237,064
環境負荷低減技術及び製品	1,742	4,530	6,085
資源有効利用	201,765	288,304	340,613
（うち住宅リフォーム）	73,374	89,700	104,542
計	299,443	472,266	583,762

東リグループに関連が深い今後の市場要求・法規制

- ・改正省エネ法
- ・建築リサイクル法
- ・大気汚染防止法改正
- ・排出権取引制度
- ・CASBEE
- ・海外規制（REACH規制等）
- ・マテリアルフロ-コスト会計、物流過程でのCO2削減評価制度の国際標準化
- ・京都議定書による温室効果ガス削減目標（キャップ・環境税導入）

- ◆ 環境対応は、今後の企業存続・CSRの観点で欠かせない要素である
- ◆ 収益力強化の視点においても、環境対応が不可欠となる

- ◆ 環境対応商材・システムの積極的開発・技術の蓄積を目指す

# 『東リ エコスピリット』(環境への取組)

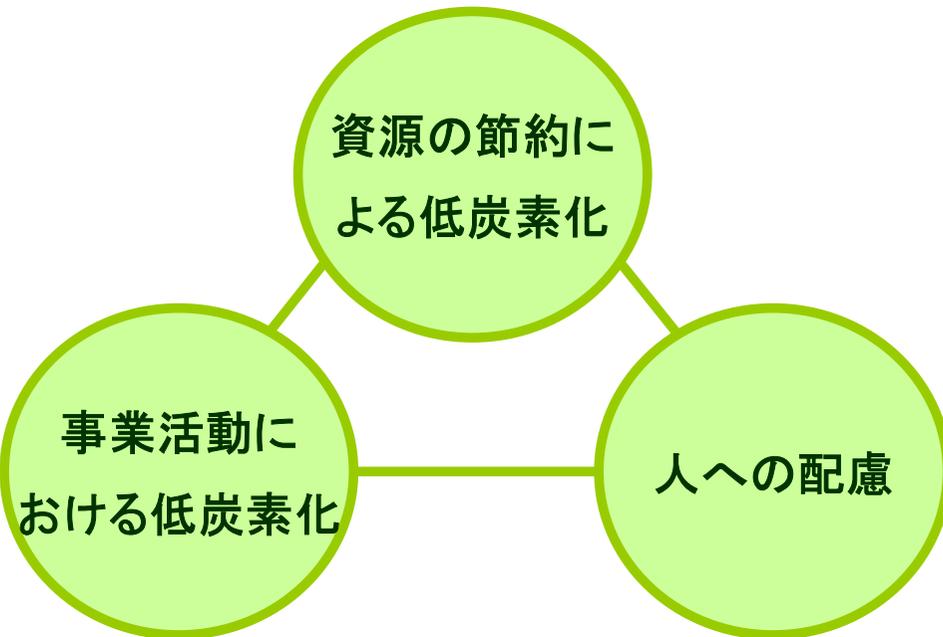


東リ エコスピリット  
シンボルマーク

エコスピリットを支える  
トライアングル



TOLI ECO SPIRIT



## 資源の節約による低炭素化

- ◆ 再生素材や生物由来素材の利用
- ◆ 長寿命商品の開発
- ◆ 省施工、省メンテナンス商品の開発
- ◆ リサイクルシステムや  
リユースシステムの推進

## 事業活動における低炭素化

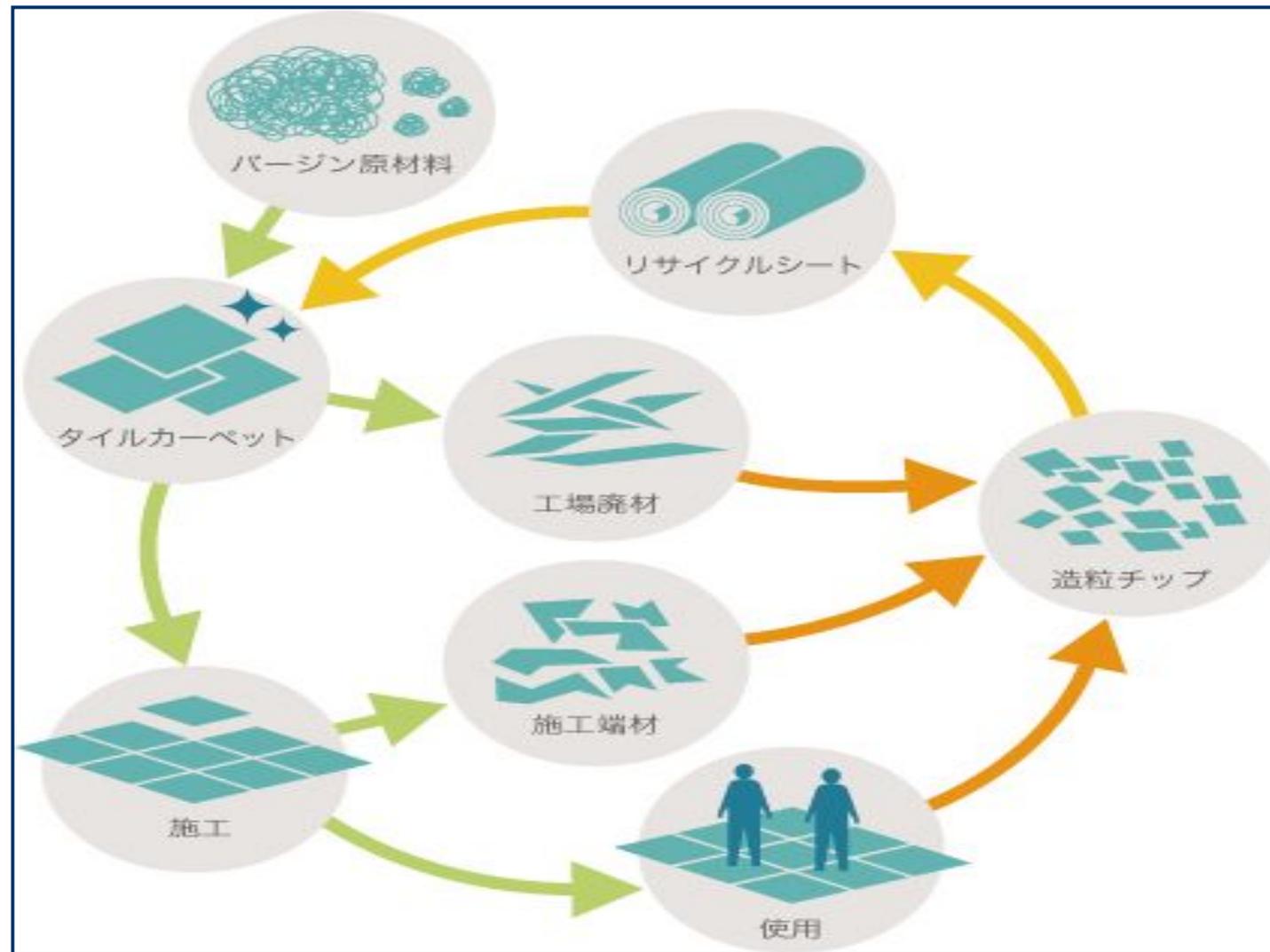
- ◆ 工場使用エネルギーの削減
- ◆ 物流活動における効率化
- ◆ 営業活動における低炭素化推進
- ◆ FSC認証紙の使用推進
- ◆ グリーン購入法適合商品の  
使用推進

## 人への配慮

- ◆ 室内空気環境への配慮
- ◆ 化学物質の適正管理
- ◆ 安全に配慮した商品の開発
- ◆ 商品の軽量化への取り組み
- ◆ 産業廃棄物の削減
- ◆ 工場内環境への配慮

## タイルカーペットリサイクルシステム

2000年からシステム稼働

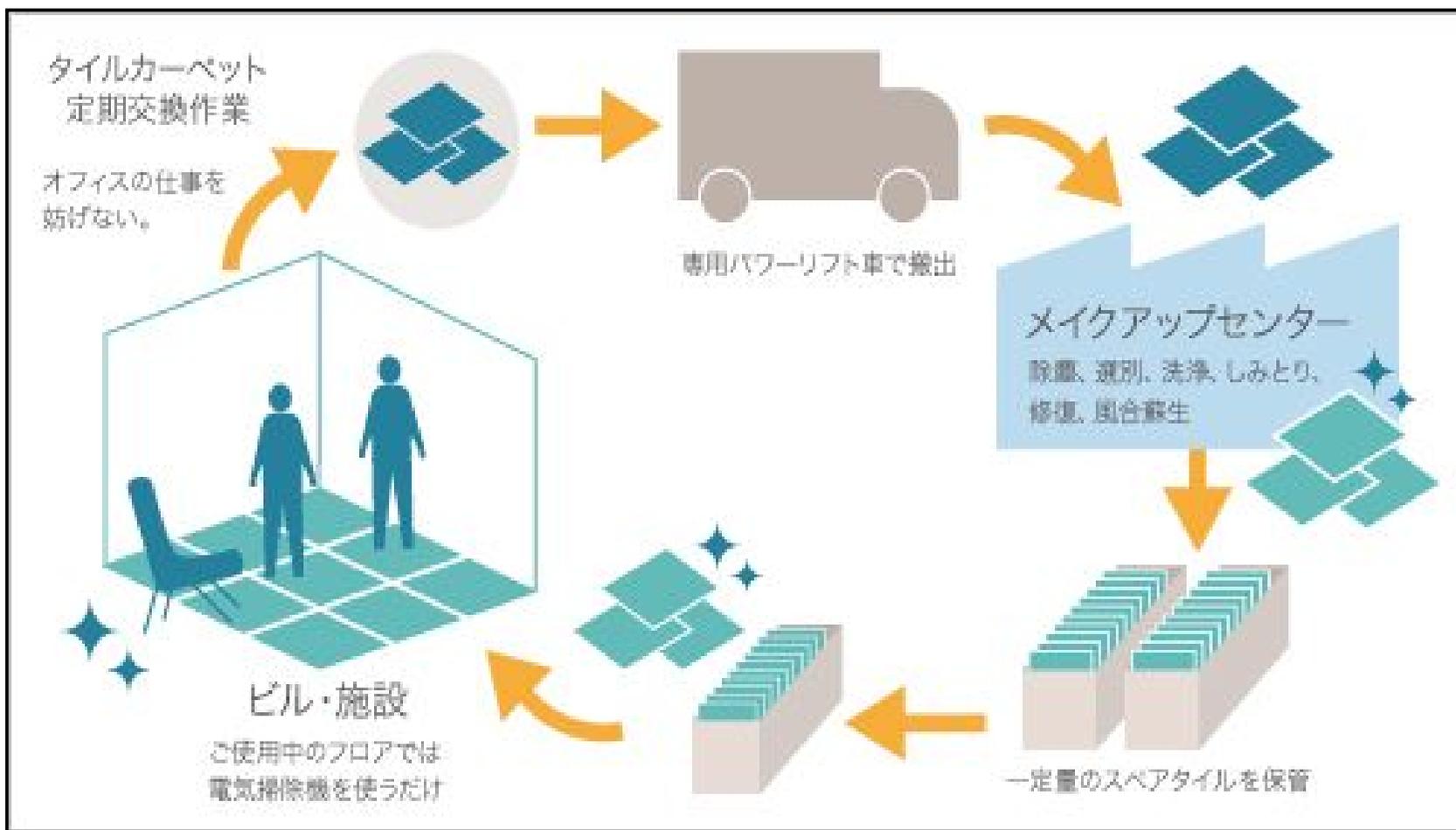


# 東リ環境対応システム



オフレーションシステム

2008年度 グッドデザイン賞受賞！  
(ソリューションビジネス部門)



## グループCSR体制の確立

### 【現状取組】

- ◆ コーポレートガバナンス
- ◆ コンプライアンス推進プロジェクト
- ◆ ホットライン(内部通報制度)
- ◆ ISO9001認証取得(1997年～)
- ◆ 地域社会貢献活動
- ◆ 東リエコスピリット(2000年～)
- ◆ 内部統制制度
- ◆ 東リグループ行動規範の遵守
- ◆ お客様相談室開設(2003年～)
- ◆ メセナ活動(松山バレエ団等)

次期中期経営計画推進のベースとして  
社会から信頼を得られるグループCSR体制を確立させる

環境対応など社会貢献

リスク管理体制の強化